

# みき通信

日本共産党 町議会議員  
くぼたみき 活動報告



第76号 2017年12月3日

発行 がんばれ くぼたみきの会

連絡先 875-7126 (阿部)

## 国難は安倍政権

総選挙後、安倍政権が次々と危険な姿勢を示しています。

11月初めに来日したトランプ米大統領との会談で、安倍首相は北朝鮮に対して対話を否定した上に、軍事力行使の選択肢があるという大統領の立場を「支持する」と容認。この日米の2人の代表は威勢の良いことを言って、戦争につながる偶発的な軍事衝突の危険を増大させるだけで無策だといえます。

平和憲法を持つ唯一の被爆国である日本政府が率先して平和的な解決を訴え、米国に言うべきことは言うという態度が必要ですが、今の安倍政権にはその姿勢はありません。「森友」「加計」問題については、疑惑を解明せずに加計学園の来年4月の獣医学部開設を認可し、国会での野党の質問時間の削減を狙うなど、「謙虚」どころかますます独裁的な振る舞いが目立っています。

こうした中で、メディアは問題点を示し、政府の姿勢を検証する内容を伝えるべきですが、日米会談の報道では、政府側の説明に終始し礼賛するNHKの異常さなど、安倍政権の危険な実態を十分に伝えるとは言えません。私たち一人ひとりに報道をうのみにせず、世界的な視野で判断する確かな目が必要です。

10月29日、上山口で議会報告会が行われ、くぼたみきさんの議会報告のあと、参加者の方々と懇談しました。

医療や介護、福祉の仕組みが次々と改悪されるという国政のもとで、町としての施策が乏しいことは大変不安です。もっと高齢者の支援に力を入れてほしいものです。

## 地域福祉活動に先進的な取り組み

町議会議員 くぼた みき

教育民生常任委員会で、先進的に地域福祉の推進に向けた取り組みを行っている自治体として京都府精華町を視察しました。

精華町では10年以上前から、地域福祉計画策定に住民も参加し、地域コミュニティと福祉コミュニティを結び付けていました。活動しやすい区域を中学校区とし、計画推進には住民が中心となり活動していました。地域の集いや街並みを綺麗に整備した様子、子どもたちとの交流など活動した内容を、発表の場「せいか隣人まつり」を設け、お互いの活動を参考にすることで刺激しあうこと、そして連携を図っていました。希薄になっていきそうな地域コミュニティを「せいか隣人まつり」が、新しく住民となった方にも参加したくなるような、参加し易いような取り組みにつながっていました。また、そこで多くの福祉的課題や生活上の課題を見出し意見を出し合い、職員もともに動くことで解決の糸口が見つかることもあるそうです。

葉山町には自治会・町内会の会長さんが会合する場はありますが、町民の方々が町内会や自治会単位で集い、発表する場はあまりありません。子どもや町職員も一緒の場を設けることは簡単ではないと思いますが、いろんな意味で協力しあったり、参考にするなどお互いに貴重な場となるのではないのでしょうか。

地域福祉には、住民参加、行政と住民の協働が必要不可欠です。今では「地域コミュニティ」や「住民との協働」も耳慣れた言葉で、自治体が策定する計画に住民が参加することも多くなり、第四期葉山町総合計画は多くの町民の方と一緒に策定しました。地域コミュニティと住民との協働を主眼に住民自ら活動し、職員もともに動く精華町の先進的な取り組みは、今後、葉山町が住民福祉に取り組んでいくうえで、とても参考となるものでした。

11月・12月と合併号になり、次号の発行は1月です。